

参加費
無料

令和7年度

災害 ボランティア シンポジウム



いざという時、
地域を守るのは
“あなた”かもしれない

in和歌山

能登半島地震から学ぶ 自助・共助の可能性

日時 令和7年7月26日(土) 10:00~12:00 (9:30開場)

会場 有田市文化福祉センター 大会議室
(有田市箕島27)



プログラム

手話通訳・要約筆記 **有**

9:30 開場

10:00 開会・主催者挨拶

10:05 第一部 基調講演

災害に強い地域づくり

～自助・共助の在り方について～

10:55 休憩

11:05 第二部 対談(オンライン)

石川県珠洲市で住民が 向きあった被災地のリアル

11:55 閉会挨拶



主催 一般財団法人地域社会ライフプラン協会 / 和歌山県 / 社会福祉法人有田市社会福祉協議会

後援 公益財団法人和歌山県市町村振興協会

※このシンポジウムは、自治宝くじの市町村振興事業として、一般財団法人全国市町村振興協会の助成金を活用して開催しています。

令和7年度 シニア災害 ボランティア シンポジウム

in和歌山

開催趣旨

有田市では令和5年6月の線状降水帯による局所被害がありました。令和6年元日に発生した能登半島地震は同じ半島に立地する和歌山県にとっても他人ごとではありません。道路の寸断・長期に渡る断水、過酷な状況は明日の有田市にも考えられることです。外部からの支援を望めない覚悟で、住民一人ひとりが「命」を守り、住み慣れた土地で「暮らし」ていくために、何を備え、どう行動すべきなのかを考える機会になることを願って開催します。

第一部

基調講演

災害に強い地域づくり

～自助・共助の在り方について～

講師プロフィール

阿部 由紀 (あべ よしのり)氏

一般社団法人BIG UP(ビガップ)石巻 代表取締役理事

1967年石巻市生まれ。青森中央短期大学幼児教育学科を卒業し、平成元年から令和4年まで石巻市社会福祉協議会職員として33年勤務し、現在は一般社団法人BIG UP石巻の代表理事として活動している。社協職員時代には、東日本大震災時に災害ボランティアセンターの主たる担当者として従事、その後も「ささえあいセンター」の運営などを10年ほど担当してきた。特に震災の5年ほど前から「地域づくり」などに力を注いできた。能登地震においては、現在も地方型の大規模災害の支援事業を行っている。



第二部

対談(オンライン) | 石川県珠洲市で住民が向きあった被災地のリアル

登壇者

阿部 由紀 (あべ よしのり)氏

一般社団法人BIG UP(ビガップ)石巻 代表取締役理事

神徳 宏紀 (じんとく ひろき)氏

社会福祉法人珠洲市社会福祉協議会 主事

参加申込

お問合せ先

和歌山県環境生活部生活局
県民生活課

TEL 073-441-2092

MAIL e0313002@pref.wakayama.lg.jp

URL <https://logoform.jp/form/WEVN/1026029>

※お申込みされた方への整理券等の発行はいたしません。
直接、会場へお越しください。
※気象状況により、やむを得ず中止することがあります。
中止の際は、和歌山県県民生活課のホームページ等でお知らせいたします。



申込締切

令和7年7月23日(水)

交通・アクセス



お車で
お越しの方

周辺案内図

有田市
文化福祉
センター

有田市箕島27

駐車場案内

無料

有料



E42阪和自動車道、
湯浅御坊道路有田インター下車20分
会場地下に有料・周辺に無料市民駐車場有



電車でお越しの方

JR箕島駅から
徒歩5分

